

共同点検の結果

基本的な考え方	メディア相互の連携	手持ち地図と標識とが微妙に異なり、分かりにくい
	連続性	空港ターミナル内と外で、駅までの案内誘導サインの色が「青」から「白」に変化する
	地域特性	観光スポットへ向かう歩行者が通るルート上に歩行者系サインがなく、迷いやすい
	ユニバーサルデザイン	多言語による表記が煩雑で見にくい
		駅から観光案内所への英語表記による誘導が不十分
視認性	観光拠点へ向かう町道との分岐点では、設置主体の異なる複数のサインによって情報が重複している	
	同一箇所に民間の設置した看板や新旧の標識などが混在し、様々なサインが混在して景観を乱しているとともに分かりにくい	
計画・設置・管理	配置計画	主要な道路との交差点や、分岐点に案内標識がない箇所がある
		目的地まで約1kmの間、真っ直ぐとの誘導標識が一度出たきりで不安
	設置	電話ボックス、街路樹等の陰になり、見づらいものがある
		周辺案内図が駅を出て多少離れたところにあり、気がつきにくい
		案内板の厚さが薄く、道路と平行に設置されているため視認性がよくない
		設置位置が高く、車いすの人では上の方は見えない
	管理	老朽化によって板面が折れ曲がっており補修・交換などの維持管理がなされていない
観光施設の名称変更に伴う表示情報の更新がなされていない		

共同点検の結果

表示	日本語の表記方法	同じ施設でも設置主体によって正式名称であったり、略称で表記したりして統一されていない
	英語(ローマ字)の表記方法	ローマ字と英語の組み合わせ表記については、施設種を英語で表現しているものと、ローマ字(日本語の読み)のままで表現しているものがあり、統一されていない。
	多言語表記を行う場合	主要観光地は4カ国語(日本語、英語、ハングル、繁体字)だが、その他は2カ国語(日本語、英語)である
		ハングル、中国語表記にあまり使われていない表記が使われている
	ピクトグラムの表記方法	ピクトグラムがデフォルメされすぎており、対象物のイメージがしにくい
	図解標識の表記方法	駅周辺の地図で、北が上向きであったり鉄道に平行だったりと表示方向が一定でない
		施設の周辺案内板に現在地の表示が無い
		観光地(町並み等)の表示が目立たない(特にPRすべき箇所が強調されていない)
	スケール	文字が小さく、読み取りづらい
	色彩	表示する色合いがはっきりしないため、見にくい(全体の配色や字体の視認性が悪い)
金属板を彫った案内板の表示面が読み取りにくい		
主に観光客を対象とする案内標識	誘導形態に応じた配置	観光施設があるものの誘導や解説がなされていない
	情報掲載の基準	休憩所、トイレ、案内所等の観光客向けの案内情報が不足
		マップ上に情報を詰め込み過ぎており煩雑
体系性	観光用案内標識が区別されていない	

課題への対応

課題 : 不適切な表示や配置

代表例 理解されない表現、二重の案内、異なる表示方法による混乱

主な原因 : 設置主体・設置目的の多様性

案内標識は多様な主体がそれぞれの目的に応じて設置
(観光を主目的としているものとそうでないものが混在)



観光客は観光を主目的とする案内標識だけではなく、様々な種類の案内標識を活用



利用されている案内標識は統一的指針により整備されていない



共同点検の結果で指摘されているような問題が発生

対応

基本的な考え方の確立

各案内標識設置主体がそれぞれの目的に応じた整備を行う際にも、基本的な考え方については共通認識としておくことが必要

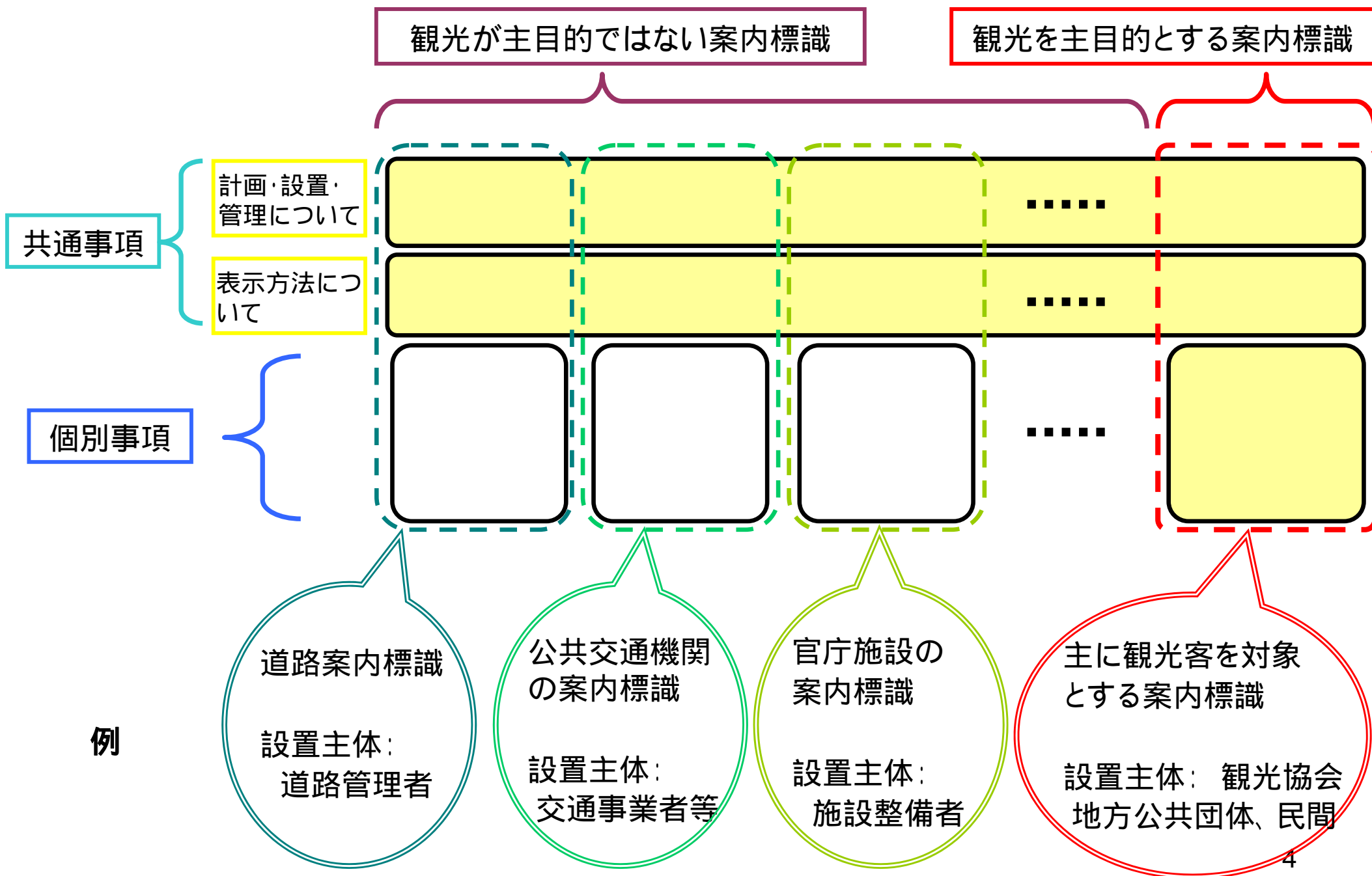
地域全体の戦略的な案内標識の整備

多様な主体がそれぞれの目的に応じて設置する案内標識を、各主体が連携して、地域全体での案内・誘導を考えた位置・内容とすることが必要

ガイドラインの作成

ガイドラインに定める内容の整理

当ガイドラインの内容



観光を主目的とする案内標識の例

主に公共部門が設置するもの		民間が設置するもの
<p>一般的に、他の設置主体が整備する標識では情報提供を行わないもの</p>  <p>観光資源の解説書き 等</p>	<p>他の設置主体が整備した標識を補完するために地域で作成するもの</p>  <p>観光資源の位置を示す 観光客向け案内板 等</p>	<p>自己の名称・位置を示すもの</p>  <p>ペンション名 等</p>

1. 観光に関する情報提供と案内標識の役割

2. 観光活性化のための案内標識整備の基本的考え方

基本方針

案内標識の計画・設置と管理

案内標識の表示

3. 主に観光客を対象とする案内標識に関して留意すべき事項